

年間目標	◎家庭、学校とのつながりのある生活リズムの中で、一人ひとりが心身ともに満たされ、快適にすごす。 ◎スタッフとの信頼関係を基に、安心してデイで出会う人や物に喜んでかかわる。 ◎一人ひとりの発達に応じて、個別支援計画を作成し、その個別の計画に基づいた支援を通して、のびのびと活動を楽しむ。 ◎いろいろな活動や遊びに関心を持ち、スタッフや異年齢の友だち、地域の人たちとのかかわりを広げる。 ◎ありのままの姿が受け入れられ、自分の気持ちや要求、願いを抱き、その子らしく表現しようとする。またその表現を温かく受けとめてもらう。 ◎さまざまな経験を重ねながら、生活に必要な習慣や態度を身につける。 ◎デイにおける人や物などの環境を通して、神さまの愛に出会う。						支援姿勢	◎一人ひとりの発達過程に見通しを持ち、保護者とともに子どもの成長を喜び、相談しあえる関係を築いていく。 保護者の不安や願いを丁寧に受けとめる保護者支援を目指す。 ◎一人ひとりの年齢や発達過程を考慮しながら、必要な支援、受け入れの仕方や関わり方について、職員同士で話し合い、共通理解を図る。 ◎一人ひとりの子どもが、その子らしく心も身体も健やかに育っていきけるよう、支援を行っていく。 ◎子どもの目線に立ち、意欲や好奇心を引き出せるような環境を提供し、五感に働きかける支援を心がける。 ◎豊かな愛情をもって、子どもとともにおとなも様々な体験をし、ともに心を動かし、ともに祈る。					
期	第1期 4月5月6月		第2期 7月8月9月		第3期 10月11月12月		第4期 1月2月3月						
ねらい	◎新しい環境に慣れ、デイでの生活や流れをスタッフと一緒にしながら、少しずつ分り身につけていく。③⑤ ◎新しい友達と一緒に過ごし、活動することを楽しむ。①④⑤ ◎春の自然に親しみながら、心地よい気候のもと、戸外遊びや散策を楽しむ。②③ ◎イースターの取り組みを通して、神さまが創られた命の不思議さや大切さを感じる。①②③ ◎スタッフの姿や簡単なお祈り、あたたかい言葉をを通して神さまと出会う。(この時期、もう一度、支援する側の言葉や子どもへのかかわり方を丁寧に直す。)②③④⑤		◎暑さや感染症から守られながら健康に過ごす。① ◎簡単なお手伝いに関心を持ち、自分でやってみようとする。⑤ ◎スタッフや友達との関りを深め、一緒に好きな遊びを楽しむ。名前を呼びあうなど、いろいろなやりとりを喜ぶ。②③④⑤ ◎水、絵の具など、いろいろな素材に触れて、ダイナミックな造形活動を楽しむ。②③ ◎夏ならではの生物に触れ、親しむ。③⑤ ◎いろいろな歌や体操に親しみ、一緒に歌ったり踊ったりする。②④ ◎平和に関する絵本やお話を聞いて、スタッフや友達と一緒に平和を大切にしたいという思いが育まれ、お祈りをしようとする。③④⑤		◎季節の変化の中で、一人ひとりの体調に気をつけてもらいながら、元気に過ごす。① ◎戸外遊びや散策を通して秋の自然に親しんだり、秋の実りに感謝(収穫感謝)したりする中で、神さまの創造の業に触れる。②③⑤ ◎いろいろな楽器を使って、音色や演奏を楽しむ。②③ ◎落ち葉やドングリなどの秋の自然の素材や、毛糸や布などの温もりのある素材に触れて、秋冬のイメージをもって造形活動を楽しむ。②③ ◎アドベント、クリスマスのお話や絵本にたくさん触れて、皆と一緒にクリスマスを待ち望み、イエス様のお誕生をお祝いする。②④⑤ ◎クリスマスの讃美歌に親しみ、歌ったり演奏したりする。②③④⑤		◎手洗いをこまめにする。衣服を調節するなど、冬の生活習慣を自分でしようとする。① ◎寒い中でも、冬ならではの遊びなどを通して、冬の自然に親しむ。② ◎デイで出会う人たちとお互いの違いを認めながら、助け合える喜びを感じる。④⑤ ◎世界の文化に触れて、世界のいろいろな人たちの生活に関心と親しみを持つ。困難の中にある人たちのことを覚え、一緒にお祈りしようとする。③④⑤ ◎神さまの守りの中で、楽しく過ごせたこと、成長できたことを一緒に感謝し、喜びを分かち合う。③④⑤						
養護・安全	◎年齢、発達などを考慮し、一人ひとりに合わせた基本的な生活支援を行う(排泄など)。その子が安心できるような方法を見つける。(支援側のやりやすさを優先させない。) ◎食事の提供では、アレルギーの有無や食事形態について、全職員が情報を共有し、誤食のないよう十分に気をつける。 ◎一人ひとりの健康状態を把握し、早めに対応できるようにする。 ◎不審者対応を含めた非常時の対応や、避難経路・避難方法を職員で確認する。 ◎安全で衛生的な空間と、穏やかで安心できる空間を確保する。 ◎室内を整理整頓し、危険な場所や玩具がないか確認しておく。 ◎戸外遊びや散策をする場所での安全確認をしっかり行う。		◎衛生面や気温・湿度に留意し、暑い夏を元気に過ごせるようにする。エアコンを適切に使用するとともに換気にも気を配る。 ◎一人ひとりの健康状態を把握し、快適に過ごせるようにする。 ◎体を動かす活動や夏の暑さ・水遊びの疲れに配慮して、休養を十分に取れるようにする。 ◎戸外活動の時は、特に熱中症に注意し、帽子を着用し日陰ですごすようにしたり、テントなどで日陰を作ったり、いつでも水分補給できるようにしておく。 ◎水遊びの際は、水深が浅くても溺れる可能性があることを認識し、子どもから目を離さず、必ず一人は監視にまわる。 ◎水温に注意し、必要な時はお湯を足す。プールの前には体操をする。 ◎一人ひとりの状態に応じた水遊びを楽しめるように配慮する。		◎気候の変化や体調に気をつけながら、室内・戸外での活動を十分に楽しめるようにする。 ◎一人ひとりの甘えや要求を十分に受け入れながら、自分でできることの喜びや、自分でできたという達成感を味わえるようにする。 ◎寒さで体の動きも鈍くなるので、ケガや転倒などに気をつける。 ◎教材、玩具や室内の衛生を保てるようにする。 ◎感染症に備え、室内の消毒や換気などをこまめに行う。		◎体調を崩しやすい時期なので、家庭との連携を密にし、体調管理に気をつける。 ◎感染症予防のため、室温や湿度の管理に気をつけ、こまめに換気や室内の消毒(床、教材、遊具など)を行う。 ◎感染症の情報や嘔吐・下痢の処理手順を確認し、発生した時の対応を共通理解しておく。 ◎その日の天候に応じて、被服の調節に気をつける。 ◎花粉症などのアレルギー児のために対応する。(マスクの用意、戸外活動の縮小など)						
内容	◎一人ひとりの健康、年齢、発達に合った援助やかかわりを通して、スタッフと信頼関係を築いていく。⑤ ◎自分なりの思いの伝え方や表現を安心して出して、温かく受けとめてもらう。①④⑤ ◎好きな遊びのコーナーや教材を見つけて、楽しく活動する。②③ ◎安心できるスタッフとの関係の中で、新しい友だちに関心を持ち、一緒に活動や遊びを楽しむ。④⑤ ◎天候の良い日は、戸外に出て春の温かさを ◎雨の日も、雨の様子を感じ、気分転換をしたり、戸外での遊びや散策を楽しむ。①② ◎イースターの活動(造形や歌、絵本など)に取り組み、命の不思議さや素晴らしいさに気づく。②③⑤ ◎スタッフの言葉や姿に触れて、お祈りや神さまのお話に少しずつ親しむ。④⑤		◎いろいろな活動に関心を持ち、スタッフと一緒にしてみる。②③⑤ ◎友達との関りが多くなってくる中で、互いの主張がぶつかり合う、折り合いをつけるなどの体験を重ねていく。④⑤ ◎水や氷など変化する素材や、絵の具などを使って、ダイナミックな造形活動(フィンガーペインティング、ボディペインティング、色水遊びなど)を楽しむ。水遊びや絵の具遊びが苦手でも、自分のできる範囲で、感触などを楽しむ。①②③ ◎夏の虫(セミ、カブト虫、バッタ、ザリガニなど)を捕ったり、世話をしたりして、生物に親しむ。①②③⑤ ◎歌やダンスに合わせて、一緒に歌ったり、体を動かしたりして、表現を楽しむ。①②④⑤ ◎平和に関する絵本と一緒に読んだり、話を聞いたりして、平和への願いをこめた表現活動(歌、造形など)に参加する。④⑤		◎友だちの様子や変化に気づいて、声をかけたり、手伝ってあげようとしたりする。⑤ ◎散歩などで拾った秋の自然物を使って造形をしたり、遊んだり、ドングリや虫の図鑑などを一緒に見たりする。①②③★ ◎毛糸やフェルトなど温もりが感じられる素材を使って、秋冬の造形活動を楽しむ。②③★ ◎鈴やタンバリン、太鼓などの楽器を使って、鳴らしたり、曲に合わせて演奏したりして、音楽に親しむ。②③⑤ ◎お家の人や近隣の人へのクリスマスプレゼントを、楽しんで作り、喜んでもらえたことを、嬉しく思う。②③⑤★ ◎クリスマスの絵本やお話、歌にたくさん触れ、クリスマスを楽しみに待ち、イエス様のお誕生を喜ぶ。④⑤		◎自分ができるお手伝いを自信を持ってしようとする。③⑤ ◎コマやたこを作ったり、コマ回し、かるた遊びなどの日本の伝統遊びや世界の伝統遊びを楽しむ。②③⑤★ ◎世界のいろいろな国や民族の写真や絵などを見て親しみを覚え、関心や興味を抱く。違いを肯定的に受け入れる。③⑤★ ◎冬から春に移り変わる自然と一緒に感じながら散歩し、さまざまな発見を喜ぶ。①②③★ ◎1年の中で楽しかったことや頑張ったことを職員とともに振り返り、新たに始まる次の学年・学校に希望を抱く。⑤ ◎感染症が流行る時期なので、自分で気づいたり声をかけられたりしながら、手洗いなどをしようとする。①④⑤						
活動	◎近隣公園への散歩(～3月) ◎クッキング(～3月) ◎その月の造形(～3月) ◎イースターの取り組み ◎父母の日プレゼントづくり ◎近隣の探検ごっこ(危険な遊び・場所の確認) ◎ことごと倶楽部への参加(～3月) ◎夏野菜の植え付け ◎青虫の飼育 ◎かたづけり		◎色水遊び(6月～9月) ◎水遊び・プール遊び(6月～9月) ◎大胆な造形遊び(6月～9月) ◎平和のお話 ◎防災のお話(880万人訓練後) ◎かぶと虫 ◎セミ ◎ザリガニ ◎バッタ		◎秋の自然物(ドングリ、落葉、松ぼっくり、木の枝)などを拾う。 ◎拾ってきた自然物での製作 ◎天地創造 ◎アドベント～クリスマス(週ごとにイベント) ◎収穫感謝 ◎戸外活動・訪問 ◎クリスマスプレゼント作り(地域、ご家庭) ◎野菜の植え付け		◎お正月遊び(凧あげ、カルタ、すごろく、福笑いなど) ◎世界に向けて ◎作品展にむけての準備 ◎おめでとう＆ありがとう会 ◎作品展(2月中旬～3月中旬)						
支援	◎一人ひとりの状況について、適切な判断に基づき対応を心がける。 ◎家庭や学校での生活の仕方を知り、一人ひとりに応じたデイの生活リズムを整えていく。 ◎年齢や発達、興味・関心にあった教材や玩具を用意する。 ◎一人ひとりの持ち物の置き場所や、遊びのコーナーなどわかりやすく掲示する。(マークやシール、写真などを用いて) ◎一人ひとりが安心して過ごせるように、スタッフ間で互いの役割や動きなどをこまめに確認しあう。 ◎スタッフがつなぎ役となり、友だちにも関心を持ち、一緒に活動する楽しさを味わえるようにする。 ◎一人ひとりの表現に丁寧に答え、思いをしっかりと受けとめる。 ◎スタッフの助け合う姿を通して、子どもたち同士が助け合える雰囲気になるように心がける。		◎その子が関心を持っているお手伝いを、喜びをもってできるように支援する。※強制や義務にしない。 ◎水や砂、絵の具などを使って活動する時は、小グループで行い、苦手な子どもも安心して触れることができる環境を作る。 ◎見立て遊びなどができるように、興味に応じてコーナーを作ったり、小道具を用意したりする。 ◎プール遊びの時は、全身を使って水遊びを楽しめるよう、スタッフ間での連携を図る。 ◎暑い夏を健康に過ごせるよう、子どもの様子をこまめに確認し、疲れが見える時には、早めに休息が取れるようにする。 ◎友だちと関わる中で、思いがぶつかり合う時は、どちらの主張も丁寧に聞いて、お互いになつとくできるような支援を心がける。		◎遊びや活動の中で、子どもが主体的に進行役を務めたり、活動をリードしていきけるように援助する。(～3月まで) ◎集団遊び・活動が苦手な子どもには、少しずつ自分が参加したいと思えるような工夫をする。少しでも参加できた時は、ともに喜ぶ。 ◎アドベント～クリスマスの雰囲気を楽しめるような環境を作る。クリスマス会はイベント的にならないよう、神さまの愛を一人ひとりの子に届けることを何よりも大切に配慮する。 ◎デイでの生活の主体が一人ひとりの子どもであることを伝えていき、それぞれができる役割をわかりやすく示して、互いに認め合える雰囲気を作る。		◎それぞれが、デイでの生活に自信と喜びをもって、主体的に活動できるような援助を心がける。※大人の指示にならないように配慮。 ◎掲示などを用い、手洗いなどの感染予防について、わかりやすく伝えていく。 ◎室内での遊びが多くなる季節は、静と動のバランスを考え、全身や手指を十分に使って遊べるような活動を工夫したり、環境を整える。 ◎世界が感じられる絵本や教材(写真やイラスト)などを用意する。 ◎遊びや活動の中に、世界の伝統遊びや文化を取り入れる。 ◎体温調節が難しい児や体調を崩しやすい児について、特に気をつけて、少しの変化にも注意する。 ◎1年間の作品が楽しくわかるように作品展の掲示などを工夫する。 ◎片付けや掃除などは、喜びや感謝の気持ちを表す機会として、子どもたちと一緒に無理なく取り組む。						
家庭連携	◎連絡帳や送迎時のやりとり、懇談などを通して、保護者との信頼関係を築いていく。◎虫よけについて連絡(お便り) ◎デイでの子どもの不安や甘えの気持ちを受けとめ、保護者にその日の様子を丁寧に伝え、新しい環境に安心感を持てるようにする。 ●デイこひつじだより随時発行(年4回) ●保護者懇親懇談会(造形)		◎夏の遊びを十分に楽しむことができるように、健康状態について連絡を密にしてい。く。(「プール遊びの諸注意」等を配布) ◎水分補給のためにお茶の量を十分用意してもらう。 ●個人懇談の案内配布→個人懇談		◎日々のデイでの活動や生活と子どもの成長とのつながりをわかりやすく伝える。 ◎保護者同士のかかわりが深まる機会を作る。 ●座談会 ●保護者懇親懇談会(親子遠足) ●来年度利用調査		◎1年間の保護者の理解や協力に感謝の気持ちを伝える。 ◎デイに関する評価アンケートを行い、次年度に向けてよりよいデイづくりにつなげる。 ●個人懇談の案内配布 ●作品展 ●個人懇談(次年度個別計画立案)						

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
児童発達支援については、★印の内容を保護者と共に活動していく

法人(事業所)の理念	神と人とを愛し、愛される子ども・大人に育てる ・自律的、主体的に生きる力を育てる ・創造する力、思考する力、行動する力を培う ・健康な心と身体と豊かな感性を育む ・国際人となるための基礎を築く
支援基本方針	キリスト教精神に基づいた支援 ・一人ひとりの子どもの個性の尊重 ・基本的生活習慣の育成と自立の確立 ・子どもの自発性に基づく自主的活動の尊重 ・支援者と子ども、子どもと子ども、支援者と保護者との信頼関係の樹立 ・人的、物的環境の重視
営業時間	①学校営業日(平日) 月～金曜日 10:45～18:00 ②学校休業日(長期休暇中) 月～金曜日 9:15～16:30 ③土曜日 9:15～16:00
利用時間	①学校営業日(平日) 月～金曜日 11:30～17:30 ②学校休業日(長期休暇中) 月～金曜日 10:00～15:30 ③土曜日 10:00～15:00
送迎実施の有無	送迎あり